

※記載例（工程表は、契約締結時に提出したものを活用しても結構です）

第1号

予定工程 ——
実施工程 ——

工 程 表

【条件の確認①】

請求時点で、工期の2分の1を経過しているか。

工 事 番 号 工 事 名			H28国補〇〇〇〇〇第1号工事					工 期 平成28年4月10日 から 平成28年11月30日 まで		受 注 者 住 所 茨城県猿島郡境町〇〇●●番地 商号又は名称 (株)〇〇建設 氏 名 代表取締役 〇〇 〇〇 ⑩					
工 事 場 所			境町大字〇〇●●番地					請 負 代金額 金5,400,000円							
項 目	単位	数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘 要
			10 20	10 20	10 20	10 20	0 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	
共通仮設工	式	1	10 10						30		30				
道路土工	m	22		10 10	10 10		10 10	30 30							
石・ブロック積工	m ²	25		20 20	30 30										予定工程（黒線） 全体の予定工程に対する，報告時点（10月1日）の予定工程の割合を，様式第5号の②に記載する
法面工	m ²	28			1 1	20 20									
排水構造物工	m	45				20 20	20 20								
カルバート工	m	15		10 10	20 20										
舗装工	式	1						20 20	30 30						
縁石工	m	45					10 10	20 20							実施工程（朱線） 全体の予定工程に対する，報告時点（10月1日）に実施した工程割合を，様式第5号の③に記載する
区画線工	m	55							1 10						
【条件の確認②】 工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされる作業が行われているか。 予定工程（黒線）に実施工程（朱線）が															

予定工程（黒線）
全体の予定工程に対する、報告時点（10月1日）での予定工程の割合を、様式第5号の②に記載する。

実施工程（朱線）
全体の予定工程に対する、報告時点（10月1日）までに実施した工程割合を、様式第5号の③に記載する。

【条件の確認②】

工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされる作業が行われているか。
予定工程（黒線）に実施工程（朱線）が対応しているか。
※予定工程に変更が生じている場合は、変更後の工程表により確認すること。

工期の2分の1